

諸外国の外国語教育における目標について

※ 「諸外国における外国語教育の実施状況調査」報告書を基に作成

中国

◎ 各学校段階と年齢の対応関係

学校段階	年齢	学年
初等教育	6・7～12・13歳	小学校1～5・6学年
前期中等教育	12・13～15・16歳	中学校1～3・4学年
後期中等教育	16～18歳	高等学校1～3学年

「全日制義務教育英語課程標準（実験稿）」では、一級から九級まで、段階的に達成目標が設定されている。

対応学年	級	要求
外国語学校	九級	
高校3学年	八級	普通高校卒業時に要求されるレベル
高校2学年	七級	
高校1学年	六級	
中学3学年	五級	中学3学年終了時に要求されるレベル
中学2学年	四級	
中学1学年	三級	
小学5、6学年	二級	小学校6学年終了時に要求されるレベル
小学3、4学年	一級	

このように、一級から九級までの目標が設定されているが、さらに、言語技能、言語知識、感情・姿勢、学習戦略、文化知識の5項目に分けられている。各学校段階の節目となる二級、五級、八級においては多くの達成目標設定項目がある一方、過渡期となる一、三、四、六、七級及び外国語学校の指導目標である九級については言語技能のみの目標設定となっている。

級	対応学年	言語技能	言語知識	感情・姿勢	学習戦略	文化知識
九級	外国語学校	○				
八級	高校3学年	○	○		○	○
七級	高校2学年	○				
六級	高校1学年	○				
五級	中学3学年	○	○	○	○	○
四級	中学2学年	○				
三級	中学1学年	○				
二級	小学5、6学年	○	○	○	○	○
一級	小学3、4学年	○				

上述の級ごとの英語教育達成目標設定に従い、実施されている授業内容は以下のとおりである。

級	目標の全体描写
二級	<p>英語学習への興味と情熱を保ち、簡単な英語で互いに挨拶し、個人、家庭、友人に関する簡単な情報交換ができる。学んだ内容をもとに簡単な対話を行い、歌を歌い、役を演じることができる。絵・写真の助けを借りて簡単な物語を聞き取り、読解し、語ることができる。絵・写真または指示をもとに簡単な文章を作ることができる。授業に参加し、積極的に協力し合い、進んで教えを請う。また異国の文化、習慣の理解を楽しむ。</p>
五級	<p>はっきりとした英語学習の動機と積極的で自主的な学習姿勢を持っている。教員が語る話題について聞き取ることができ、討論に参加できる。日常生活のさまざまな話題について、第三者と情報交換し、自分の意見を述べるができる。七～九級で使用する簡単な読み物と刊行物、雑誌を読解でき、知らない単語の意味を推測しつつ大意を理解できる。読解すべき教材ごとに戦略を立てることができる。指示に従い、小作文を書き、推敲できる。第三者と協力し、問題を解き、答えを報告、タスクを全うすることができる。自身の学習経過を評価し、学習方法を総括することができる。さまざまな教育資源を利用し、学習する。文化差の理解・認識をさらに深めることができる。</p>
八級	<p>強い自負心と自主学習能力がある。身近な話題について、英語スピーカーと自然に交流できる。会話・文章の内容について、評論的な見解を表明できる。連続した、完全な短い文章を書くことができる。言語を使ったさまざまなジャンルの活動を、自ら企画、立案、実施することができる。これには、計画設定・実施、実験や調査の結果発表を含む。インターネット等のさまざまな教育資源を有効利用し、情報を得て処理できる。自主的に学習効果を評価し、有効な英語学習の戦略を立てることができる。言語コミュニケーションの文化的 content と背景を理解し、異国文化に対して、尊重・包容の姿勢を持つ。</p>

○ 技能項目の指導目標

級	技能	目標内容
二級	リスニング	<ol style="list-style-type: none"> 1、図、画像、ジェスチャーを見ながら、簡単な会話や録音を聞き取ることができる。 2、簡単な図付きの短い物語を聞き取ることができる。 3、授業中に投げかけられる簡単な質問を聞き取ることができる。 4、日常的によく使われる指示や要求を聞き取り、それに応じた反応ができる。
	スピーキング	<ol style="list-style-type: none"> 1、口頭で表現する際、はっきりと発音し、正しいイントネーションで話すことができる。 2、知り合いや家庭の状況について簡単に対話で説明できる。 3、日常的に最もよく使う常套句（あいさつ、感謝、謝罪など）を言うことができる。 4、教員に助けられながら、簡単な物語を述べるができる。
	リーディング	<ol style="list-style-type: none"> 1、学んだ単語を読むことができる。 2、発音・イントネーション記号に基づき、簡単な単語を読むことができる。 3、教材中の簡単な要求や指示を読んで理解することができる。 4、グリーティング・カードなどで表されている簡単な情報を読み取ることができる。 5、図や簡単な物語、短い文を読んで理解し、単語単位ではなく、文節ごとに読み解く習慣ができています。 6、学んだ物語や短い文章を正確に朗読できる
	ライティング	<ol style="list-style-type: none"> 1、範例を真似して、文章を書くことができる。 2、簡単な挨拶の言葉を書くことができる。 3、指示にもとづき図や物などについて簡単に描写することができる。 4、正確な大文字・小文字、句読点の使用が基本的にできる。
	遊ぶ・演じる・視聴	<ol style="list-style-type: none"> 1、指示にもとづき、簡単な英語を使ってゲームができる。 2、教員の手助けのもと、短い物語や童話を演じることができる。 3、簡単な詩や歌 30～40 曲（一級のものを含む）に合わせて踊ったり演技したりできる。 4、英語の歌 30～40 曲（一級のものを含む）を歌うことができる。 5、英語のアニメやレベルに合った英語教育番組を見て理解できる。また、視聴授業は年間で合計 10 時間(平均毎週 20～25 分)を下回ってはならない。
五級	リスニング	<ol style="list-style-type: none"> 1、語調やアクセントから、話者の意図を理解することができる。 2、身近な話題に関する話を聞き取ることができ、情報と観点をつかむことができる。 3、前後関係などから、知らない単語の意味を推測し、大意を理解できる。 4、通常の会話に近いスピードで語られる物語や説明文を聞き取り、因果関係を理解することができる。 5、英語を聞き、適切な反応を取ることができる。 6、聞いた文章の簡単な情報を記録することができる。

	スピーキング	<ol style="list-style-type: none"> 1、ディスカッションに参加し、簡単な話題の会話に情報を提供、簡単な見解や意見を表明することができる。 2、第三者と情報交換し、協力してタスクを全うすることができる。 3、話した内容について修正したり、否定したりできる。 4、情報提供や助けを、効果的に求めることができる。 5、話題に沿った会話のやり取りができる。 6、英語で寸劇を演じることができる。 7、上記の課題を行う際、自然な発音、イントネーションで話し、適当な語調で話すことができる。
	リーディング	<ol style="list-style-type: none"> 1、前後関係や文章構成から推測し、知らない単語の意味を理解できる。 2、文章内の各文の論理的なつながりを理解することができる。 3、文章の主題を特定し、物語のプロットを理解、以降の展開と結末を予測することができる。 4、一般的なスタイルの資料を読解できる。 5、それぞれの文章を読む目的を見極め、どのように読んだらいいか簡単な戦略を立て、情報を的確に得ることができる。 6、辞典等を利用し、学習を進めることができる。 7、授業の教材のほかに、15万語以上の読書をする。
	ライティング	<ol style="list-style-type: none"> 1、課題に合わせ、資料を収集、準備することができる。 2、一人で短い文章、手紙等を書き、教員の助けを借りながら修正することができる。 3、一般的な接続詞を使い、物事の順序と因果関係を表現することができる。 4、人物や出来事について、簡単に説明することができる。 5、提示された図や表をもとに、シンプルな段落または指示を書くことができる。
八級	リスニング	<ol style="list-style-type: none"> 1、口調による態度の違いを聞き取ることができる。 2、身近な話題についての討論や会話を聞き取り、要点を理解、記憶することができる。 3、簡単な文章の見解をつかむことができる。 4、ラジオ、テレビの英語ニュースのテーマ、大意をほぼ聞き取ることができる。 5、間接的な表現の提案、アドバイスなどを聞き取ることができる。
	スピーキング	<ol style="list-style-type: none"> 1、適切な語調とリズムで話すことができる。 2、タスクに沿って話し合い、計画を立てることができる。 3、実験や調査のプロセスと結果を報告できる。 4、準備をした後、一般的な話題について3分間スピーチができる。 5、日常的なやりとりの中で、意見、決断、抗議、苦情などを効果的に言葉で表現できる。 6、外国人の買い物や観光に同行するなどし、一般的な生活内で通訳ができる。

リーディング	<ol style="list-style-type: none"> それぞれの資料の異なる見解や観点を読み取り、理解できる。 異なる文体の特徴をつかむことができる。 文章構造を分析し、難解な文や長文の内容を理解できる。 教員の助けを借りつつ、平易な文学作品を読解できる。 カリキュラムの規定に沿って、電子ブックやインターネット上の情報をつかみ、整理・処理できる。 授業の教材のほかに、36万語以上の読書をする。
ライティング	<ol style="list-style-type: none"> 構造化され、理論立った作文を書き、出来事を説明したり、自身の考えや見解を表現したりできる。 テキストをもとに、概要を書くことができる。 適切な文体を使い、筋の通った文章展開ができる。 文章や図表の情報をもとに、短い報告書やレポートを書くことができる。

○ 言語知識の指導目標

級	技能	目標内容
二級	発音	<ol style="list-style-type: none"> 間違った発音が、コミュニケーションに悪影響を及ぼすことを理解する。 アルファベットの発音を知る。 簡単なスペルのルールを理解する。 単語にアクセントがあることを理解する。 はっきりとした発音、自然な語調で話せるように努力する。
	語彙	<ol style="list-style-type: none"> 級のレベルに合った600～700単語と50前後の熟語を学ぶ。 単語が、アルファベットで構成されていることを理解する。
	言語機能	挨拶、別れの言葉、感謝、謝罪、紹介、要求などのコミュニケーションにおける基本的な表現形式を理解する。
	話題	以下の話題に関する簡単情報を理解し、表現できる——数字、色、時間、天気、食べ物、服、玩具、動植物、健康、個人の状態、家族、学校、友人、文化・スポーツ活動、祝日。
	文法	<ol style="list-style-type: none"> 名詞に単数形・複数形があることを知る。 主な代名詞の区別ができる。 動詞に活用形があることを知っている。 時間、場所、位置の前置詞を理解する。 英語の簡単な句の基本形式、表現を理解する。
五級	発音	<ol style="list-style-type: none"> 言語学習中における発音の意義を理解する。 英語の会話には、発音、アクセント、連音、語調、リズムなどの重要項目があることを理解する。 日常生活の会話では、正確で自然、流暢な発音、語調が重要であることを理解する。 アクセントと語調の変化により、異なる意図や態度を理解し、表現する。 発音をもとに、単語やフレーズを書き出す。

	語彙	<ol style="list-style-type: none"> 1、級のレベルに合った 600～700 の単語、50 前後の熟語を学ぶ。 2、単語が、アルファベットで構成されていることを理解する。
	文法	<ol style="list-style-type: none"> 1、一般的な言語形式の基本構造、表現を理解する。 2、実際に英語を使いつつ、言語の表現形式を感じ取り、把握する。 3、人や物を描写する際の表現形式を理解、把握する。 4、具体的な出来事や行動、その発生、発展プロセスの描写表現方法を理解、把握する。 5、時間、場所、方位を示す基本的な表現方法を把握する。 6、人、事物などにおける比較表現を理解・把握する。
	言語機能	<ol style="list-style-type: none"> 1、日常生活における挨拶、別れの言葉、感謝、紹介などを表すコミュニケーション機能を適切に理解する。 2、日常的な人との関わりの中で、効果的に自分自身を表現する。
	話題	<ol style="list-style-type: none"> 1、学生個人個人、家族、学校生活と密に関わる話題を熟知する。 2、日常生活、興味・趣味、風習・習慣、科学文化などの話題を熟知する。
八級	発音	<ol style="list-style-type: none"> 1、実際のコミュニケーションの中で、自然、適切、流暢な発音、語調を身につける。 2、発音と語調から、隠された意図や態度を理解、表現する。 3、詩、歌の中のリズムや調子を理解する。 4、発音をもとに聞きなれない単語や簡単な文章を判別し書き出す。
	語彙	<ol style="list-style-type: none"> 1、語彙を駆使し、異なる効果、意図、態度などを理解、表現する。 2、語彙を駆使し、より複雑な物事、行動、特徴、概念を表現する。 3、3,000 単語、400～500 のイディオム、決まり文句などの使用をマスターする。
	文法	<ol style="list-style-type: none"> 1、時間、場所、方位を描写する表現方法をより深く把握する。 2、人、事物などを比較する表現方法をより深く理解、把握する。 3、適切な言語形式で描写し、意見、態度、感情などを表現する。 4、基本的な語彙の構成知識を学習、把握し、特定の目的のために効果的に情報を利用する。
	機能	<ol style="list-style-type: none"> 1、より幅広い文脈における挨拶、別れの言葉、感謝、紹介などのコミュニケーション機能を理解、表現する。 2、日常的な人との関わりの中で、効果的かつ適切な言葉で自身を表現できる。例、意見陳述、判断、抗議、苦情など。 3、これまでに学んだ一般的な英語の機能を柔軟に活用しつつ、さらに新しい言語機能を学び、把握する。 4、実際の生活の中における情報交換のさまざまな目的を熟知し、自ら実現する。

○ 感情・姿勢の指導目標

級	目標内容
二級	1、英語を聞き、英語を話し、詩を暗誦し、歌を歌い、物語を語り、ゲームするなどして、英語に興味を持つ。 2、進んで英語を真似し、自ら進んで話し、積極的に授業に参加し、自主的に教えを請う。
五級	1、英語学習の明確な目的があり、英語学習の目的がコミュニケーションにあることを認識する。 2、英語学習に対して情熱と興味があり、英語を使ったさまざまな活動への参加を楽しむ。 3、英語を習得する自信があり、英語で表現する勇気を持つ。 4、グループ活動の中で、積極的に他と協力し、互いに助け合い、共に学習タスクを全うすることができる。 5、英語学習の楽しみを感じ取り、英語の歌、読物などへの接触を楽しむことができる。 6、英語での交流で、他者の感情を察知し、理解することができる。 7、問題に突き当たったとき、教員や同級生に進んで助けを求めることができる。 8、生活の中で英語に触れたとき、その意味を追求、真似しようと努める。 9、自国の文化をより深く理解することができる。 10、異国の文化に触れ、理解することを楽しむ。

○ 学習戦略の指導目標

級	戦略タイプ	目標に関する説明
二級	基本学習戦略	1、積極的に他と協力し、共にタスクを全うする。 2、自主的に先生、同級生に教えを請う。 3、簡単な英語学習計画を立てる。 4、学んだ内容を自主的に練習し、実践することができる。 5、言葉と、それに対応する事物の関連性を想像して理解できる。 6、英語学習に集中できる。 7、英語で書かれた物語、その他の英語資料を読もうと試みる。 8、学んだ英語を積極的に生かし、表現、交流する。 9、日常生活、またはメディアで使用される簡単な英語に注目する。 10、初歩レベルの英中辞典を使いこなすことができる。

五級	認知戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、必要に応じて予習をする。 2、学習中、注意力を集中させる。 3、学習中、積極的に考える。 4、学習中、要点をうまくノートにまとめられる。 5、学習中、絵などや言語以外の情報を利用し、テーマを理解することに長けている。 6、いろいろなことを連想しながら、単語を習い、覚える。 7、学習した内容を自主的に復習、整理・要約できる。 8、言語のルールに注目し、さまざまなルールを発見できる。また、そのルールを活用し、一つの例を複数に応用できる。 9、英語を使用中、間違いに気がつき、適切に直すことができる。 10、必要とあれば、母国語の知識を効果的に利用し、英語をさらに理解する。 11、英語で書かれた書物、その他の英語の資料を読もうと自ら試みる。
	コントロール戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、自分の英語学習の目標を明確にする。 2、自分の英語学習の必要性を明確にする。 3、英語学習の簡単な計画を立てる。 4、英語学習の主な内容を把握する。 5、自身の英語学習における進捗状況と進歩が足りない部分に注目し、理解、反省する。 6、積極的に自身に適した英語学習方法を模索する。 7、先生や同級生らと学習の感想を日常的に語り合う。 8、授業中、授業外を問わず、積極的に英語学習活動に参加する。
	コミュニケーション戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、授業中、授業外に関わらず、英語を十分に使い、第三者と交流できる。 2、英語でコミュニケーションを取る機会を積極的に作るができる。 3、英語でコミュニケーションを取っているあいだ、自らの意思を表現することに集中する。 4、英語でコミュニケーションを取っているあいだ、必要に応じて、ジェスチャーや表情の変化を使って交流する。 5、英語でコミュニケーションを取っているあいだに困ったとき、臨機応変に助けを求める。 6、英語でコミュニケーションを通して、中国と外国のコミュニケーション習慣の違いに気づくことができる。
	教育資源戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、音声・映像資料を使って自身の学習に生かせるよう心がける。 2、簡単な辞書や参考書を使って情報を調べる。 3、日々の生活やメディアの中で使われる英語に注目する。 4、図書館やインターネット上の学習資源における基礎情報を利用できる。

八級	認知戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、頭の中で連想しながら、関連する知識の関係性を組み立てる。 2、帰納的推理などの論理的手段により、問題を分析、解決する。 3、言語のルールに注目し、さまざまなルールを発見できる。また、そのルールを活用し、一つの例を複数に応用できる。 4、学習中、重点をうまくつかみ取ってノートに記し、学んだ内容を整理、総括できる。 5、リスニングやリーディングにおいて、前後関係や状況を判断し、単語を予測できる。また、段落の大意を推測できる。 6、学習中、図表などの非言語情報を頼りに、理解、表現する。
	コントロール戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、必要に応じて、英語学習の計画を立てる。 2、自主的に英語学習の機会を増やす。 3、英語学習の機会を自ら作る。また、学習できるチャンスを巧みにつかむ。 4、学習中に難題に直面したとき、どのように助けを得られるかがわかっている。 5、教員・同級生と交流し、英語学習に対する感想と経験について語り合う。 6、学習結果を自ら評価し、効果的な学習方法を総括。また、個人個人の記憶方法を活用し、記憶力を上げる。
	コミュニケーション戦略	<ol style="list-style-type: none"> 1、授業中、授業外に関わらず、同級生と積極的に英語でコミュニケーションを取る。 2、ジェスチャー、表情といった非言語手段の助けを借り、コミュニケーション効果を上げることに優れている。 3、コミュニケーションを通して言葉の障害を乗り越え、意思疎通を続けることに優れている。 4、さまざまな機会を通じて、英語で真剣な意思疎通をすることに長けている。 5、英語でのコミュニケーションにおける基本マナーに留意し、守ることができる。
	資源戦略	<p>図書館、コンピュータ、インターネット、ラジオ、テレビなどを通して、より多くの英語情報を手に入れ、学んだ知識を広げる。</p>

○文化意識の指導目標

級	目標内容
二級	<ol style="list-style-type: none"> 1、極めてシンプルな単語、挨拶、別れの言葉を知る。 2、基本的な言葉を使って人に褒められたり、何かを頼まれたりしたとき、適切に反応できる。 3、世界で人気のある文化・スポーツ活動を知る。 4、英語圏で人気のある飲み物や食品の名称を知る。 5、英語圏の主な国の首都と国旗を知る。 6、イギリスのビッグベンなど、世界の主要国のランドマークを知る。 7、英語圏における重要な祝日を知る。

五級	<ol style="list-style-type: none"> 1、ジェスチャー、表情の変化など、英語のコミュニケーションでよく使われるボディーランゲージを理解する。 2、呼称、挨拶、別れの言葉を正しく使う。 3、英語圏で一般的な男女の名前、ニックネームを理解する。 4、英語圏の家族の間での呼称、その習慣を理解する。 5、英語圏における正装と普段着のちがい、またその習慣を理解する。 6、英語圏の食文化を理解する。 7、褒められたり、何かを頼まれたりしたとき、適切に反応する。 8、褒めたり、頼んだりするときの適切な方法を知り、意図を明確に表現する。 9、英語圏の国々の基本情報——地理的位置、気候の特徴、歴史などを理解する。 10、英語圏で一般的な動植物、またその文化的意味を理解する。 11、英語圏における自然現象、またその文化的意味を理解する。 12、英語圏における伝統的な娯楽、スポーツについて理解する。 13、英語圏における重要な祝日や行事について理解する。 14、中国文化への理解を深める。
八級	<ol style="list-style-type: none"> 1、一般的な英語のことわざと俗語、及びその文化的意味を理解する。 2、英語での意思疎通で一般的に使われる故事、伝説を理解する。 3、英語圏の著名な文学者、芸術家、科学者の経歴、業績、貢献を理解する。 4、英語圏の国々の政治経済など基本的な状況を理解する。 5、英語圏の国々の主要メディアの状況を理解する。 6、主な英語圏の国と中国の生活習慣の違いを理解する。 7、英語圏の住民の行動、マナー、人や物への接し方などにおいて、中国人との違いを理解する。 8、英語圏の国々の主な宗教の伝統を理解する。 9、英語学習を通して世界文化を理解し、国際意識を育む。 10、中国と外国の文化の違いを知ることにより、中国文化への理解を深める。

韓国

◎ 各学校段階と年齢の対応関係

学校段階	年齢	学年
初等教育	7～12歳	初等学校1～6学年
前期中等教育	13～15歳	中学校1～3学年
後期中等教育	16～18歳	高等学校1～3学年

「教育課程」（韓国における学習指導要領）における英語教育の内容

学校段階	指導項目	教育内容
初等学校	聴解	英語の音とアクセント、リズム、イントネーションを聞いて識別する。単語や慣用表現、簡単な言葉や対話を理解する。主な内容、状況、順序、比較などに留意する。また、簡単な指示を聞いて行動に移す。
	会話	英語のアクセント、リズム、イントネーションに合わせて話す。日常的な慣用表現を用いて話す。物や絵を見て話す。簡単な対話を聞いて話す。指示・命令や要請、過去・未来の事象、及び順序について表現する。電話の応対をする。
	読解	アルファベットを識別する。音とつづりの関係を理解する。単語を読み理解する。簡単な文章を声に出して読む。聞いた文章と一致する文章を探して読む。
	作文	4学年——アルファベットの活字体を見て書く。 5学年——単語を書く。 6学年——1文で描写する。簡単な誕生日カードやサンキューカードを書く活動を行う。
中学校	聴解	学年が上がるにつれて、日常生活に関する主題から、一般的な主題にまで内容の範囲を広げていく。また、身近な内容や言葉の把握から主題や要旨、細かい事項、原因と結果、話者の態度の把握にまでレベルを上げる。
	会話	学年が上がるにつれて、日常生活に関する主題から、一般的な主題について聞いて答える内容の範囲を拡大する。また、よく知っている話について、自分の考えや感情を話すことを目指す活動を行う。
	読解	学年が上がるにつれて日常生活に関する短い文から一般的な主題へと内容の範囲を拡大する。また、細かい事項、書かれた意図、原因と結果、文の雰囲気把握し、続く内容や結論を予測する。
	作文	単語や語句を入れて文章を完成させる。自分や家族の紹介、簡単な手紙を書く。日記や感想文を書く。
高等学校	聴解	さまざまな主題について、主題や要旨、細かい事項などを把握する。
	会話	準備して発表する。文を読んで主題や要旨を話す。情報交換する。
	読解	さまざまな主題について事実と意見を区別する。必要な情報を探す。要旨を把握する。文の順序を把握する。文の前後を把握する。
	作文	一般的な主題について対話を聞いて重要な情報を書く。文を読んで要旨を書く。未来の計画を書く。

台湾

◎ 各学校段階と年齢の対応関係

学校段階	年齢
初等教育	6～11歳または12歳
前期中等教育	12～14歳または15歳
後期中等教育	15～17歳または18歳

台湾の指導要領上に掲げられる英語学習者の学習目標は以下の通りである。

小中学校

- ①学習者の基本的な英語の疎通能力を育成し、実際の環境の中で運用できる。
- ②学習者の英語学習に対する興味と方法を育成し、自発的かつ効果的に学習できる。
- ③台湾および外国の文化風習を理解し、それぞれの文化の違いを比較し尊重できる。

高等学校

- ①英語の聴解、会話、作文能力を伸ばし、実際の生活での意思疎通時に応用できる。
- ②英語で論理的に思考、分析、判断を行い、革新的な能力を育成する。
- ③効果的な英語学習方法を打ち立て、独学能力を強化し、終身学習の基礎を固める。
- ④英語に対する興味を深め、積極的な態度を身に着け、自発的に各方面の幅広い知識を収集し、人文の素養と科学技術の知能を向上させる。
- ⑤多元文化に対する理解と尊重を促進する。国際的な視野と全世界の永続発展の世界観を広げる。

各学校段階の英語学習におけるガイドライン上の記述は、以下の通り。

* の付いている能力指標は、各学校が児童・生徒の能力や学校の授業時数や教育課程において当該能力指標を選んだり、当該能力指標に示された到達度の程度を調節したり、内容や量の異なる教材を利用したりして適切に教育を行うことができる。

学校段階	指導項目	4技能の能力指標
小学校	聞く	1-1-1：26のアルファベットの音を聞き分けることができる。 1-1-2：英語の音を聞き分けることができる。 1-1-3：授業で習った用語を聞き分けることができる。 1-1-4：疑問文と平常文の語調を聞き分けることができる。 1-1-5：基本的な単語、熟語、文のストレスを聞き分けることができる。 1-1-6：簡単な文のリズムを聞き分けることができる。 1-1-7：常用の教室用語や日常生活用語を聞いて理解できる。 1-1-8：簡単な文を聞いて理解できる。 1-1-9：簡単な日常会話を理解できる。 *1-1-10：簡単な歌や詩の主な内容を聞いて理解できる。 *1-1-11：本、パペット、ジェスチャー等の視覚的な補助教材を用い、簡単な児童向けの物語や短い劇の大体の内容を聞いて理解できる。

	話す	<p>2-1-1：26のアルファベットを発音することができる。</p> <p>2-1-2：英語の発音をすることができる。</p> <p>2-1-3：授業の中で習得した用語を話すことができる。</p> <p>2-1-4：正しい語調で疑問文や平常文を話すことができる。</p> <p>2-1-5：正確なアクセント及び適当な語調で簡単な文を口に出すことができる。</p> <p>2-1-6：簡単な教室用語を使用することができる。</p> <p>2-1-7：簡単な英語で自己紹介をすることができる。</p> <p>2-1-8：簡単な英語で家族や友達を紹介できる。</p> <p>2-1-9：歌を歌い、詩を朗読することができる。</p> <p>2-1-10：基本的な挨拶の用語を使用することができる。</p> <p>2-1-11：簡単な疑問、回答、叙述文を作ることができる。</p> <p>2-2-12：簡単な英語を用いて、絵を見て話をするすることができる。</p> <p>*2-2-13：図やヒント（助言）に基づき、簡単なロールプレイを演じることができる。</p> <p>*2-2-14：簡単な児童のための短い劇に参加したり、演じることができる。</p>
	読む	<p>3-1-1：ブロック体の大文字・小文字のアルファベットを識別することができる。</p> <p>3-1-2：授業の中で習得した用語を識別することができる。</p> <p>3-1-3：音と文字関係の規則性「フォニックス」を使用して基本的な単語を読むことができる。</p> <p>3-1-4：簡単な英語の標識を見て理解できる。</p> <p>3-1-5：物語、詩、歌の中の常用語彙を理解できる。</p> <p>3-1-6：簡単な文を見て理解できる。</p> <p>3-1-7：英文の書き方の基本を理解できる。単語間にスペースを入れる、大文字で書き出す、左から右に、上から下へ読む、適当な句読点を付けるなど。</p> <p>3-1-8：教員あるいは録音テープの補助のもと、教科書の中の会話や物語を正確に朗読できる。</p> <p>*3-1-9：本、図等の視覚的補助教材から、簡単な物語や児童用の短い劇の大体の内容を閲読し理解できる。</p> <p>*3-1-10：本、書名あるいは前後の文から、簡単な予測や推論をすることができる。</p> <p>*3-1-11：フォニックスを使用して単語を読むことができる。</p>
	書く	<p>4-1-1：ブロック体のアルファベットの大文字と小文字を書くことができる。</p> <p>4-1-2：自分の名前を書くことができる。</p> <p>4-1-3：既習の用語を真似して書くことができる。</p> <p>4-1-4：既習の文を真似して書くことができる。</p> <p>4-1-5：いくつかの基本的な常用語彙（少なくとも180）を綴ることができる。</p> <p>4-1-6：図から重要な語句を書き込む（例：空所を補充する）ことができる。</p> <p>4-1-7：英文の書き方を理解し、簡単な文を書くことができる。</p>

	総合 応用 能力	<p>5-1-1：26のアルファベットを正確に識別し、声に出し、書くことができる。</p> <p>5-1-2：授業で習った英語の語彙を聴き取ったり、識別することができる。</p> <p>5-1-3：聞いたり読んだりしているときに、本に書かれた文字を識別できる。</p> <p>5-1-4：オーラルでは少なくとも300の語彙を用い、ライティングでは少なくとも180の語彙を綴り、簡単な日常コミュニケーションに対応できる。</p> <p>5-1-5：日常生活で応対に使われる常用語句（挨拶、感謝、謝罪、別れの言葉等）を聞いて理解し、適切な応答ができる。</p> <p>*5-1-6：文字や口頭での助言に基づき、重要な語句を書き出すことができる。</p> <p>*5-1-7：フォニックスを用いて英語の綴りと発音の間の規則的な対応関係を理解し、字を見て発音し、音を聞いて綴ることができる。</p>
中学校	聞く	<p>1-2-1：簡単な詩歌のリズムと音韻を識別できる。</p> <p>1-2-2：異なる文の語調で表現された感情や態度を識別できる。</p> <p>1-2-3：日常生活の会話や簡単な物語を聞いて理解できる。</p> <p>*1-2-4：会話あるいは情報の趣旨や目的を識別できる。</p> <p>*1-2-5：視覚上の補助教材により、簡単な映像や短い劇の大体の内容を理解できる。</p>
	話す	<p>2-2-1：主要な教室用語を使用することができる。</p> <p>2-2-2：簡単な英語を用いて、討論に参加することができる。</p> <p>2-2-3：簡単な英語を用いて、個人の要求、願望、感情を表現することができる。</p> <p>2-2-4：簡単な英語を用いて、日常生活に係わる人物、事柄、物事を描写できる。</p> <p>2-2-5：人物、事柄、時間、場所、物事によって質問したり、回答したりできる。</p> <p>*2-2-6：状況や場合に応じ、適切な表現で自分と他人とのコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>*2-2-7：簡単な短い劇に参加し、演じることができる。</p> <p>*2-2-8：簡単な英語を用いて、国内外の風土や習慣風俗を紹介することができる。</p>

読む	<p>3-2-1：英語のアルファベットの筆記体を理解できる。</p> <p>3-2-2：辞書で語彙の読み方や意味を調べることができる。</p> <p>3-2-3：常用の英語の表示や図表を見て理解できる。</p> <p>3-2-4：適切な語調、リズムで短文や物語を朗読できる。</p> <p>3-2-5：教科書の文の大体の意味を理解できる。</p> <p>3-2-6：会話、短文、手紙、物語、寸劇などの重要な内容や展開を理解できる</p> <p>*3-2-7：背景、人物、事件、結末など物語の要素を理解できる。</p> <p>*3-2-8：前後の文や図などから意味を推測し、文意を推論できる。</p> <p>*3-2-9：異なる様式やテーマの簡単な文章を読むことができる。</p> <p>*3-2-10：簡単な詩歌や寸劇を理解し鑑賞できる。</p>
書く	<p>4-2-1：簡単な記入用紙や資料等へ書き込むことができる</p> <p>4-2-2：助言に基づき、文を一つにしたり、書き直したり、文を新たに作成したりできる。</p> <p>4-2-3：簡単なグリーティング・カード、手紙（電子メール）等を書くことができる。</p> <p>*4-2-4：助言に基づき、簡単な文章の一節を書くことができる。</p>
総合 応用 能力	<p>5-1-1：26のアルファベットを正確に識別し、声に出し、書くことができる。</p> <p>5-1-2：授業で習った英語の語彙を聴き取り、識別できる。</p> <p>5-1-3：聞いたり読んだりしているときに、本に書かれた文字を識別できる。</p> <p>5-1-4：オーラルでは少なくとも300の語彙を用い、ライティングでは少なくとも180の語彙を綴り、簡単な日常コミュニケーションに対応できる。</p> <p>5-1-5：日常生活で応対に使われる常用語句（挨拶、感謝、謝罪、別れの言葉等）を聞いて理解し、適当な応答ができる。</p> <p>*5-1-6：文字や口頭での助言に基づき、重要な語句を書き出すことができる。</p> <p>*5-1-7：フォニックスを用いて英語の綴りと発音の間の規則的な対応関係を理解し、字を見て発音し、音を聞いて綴ることができる。</p>

高校	聞く	<p>一、基本能力</p> <p>(1) 教室用語がわかる。</p> <p>(2) 教員の話す簡単な教科書の内容と、出される問題に対して大体理解できる。</p> <p>(3) 英語の日常会話が大体わかる。</p> <p>二、上級能力</p> <p>(1) 教員の話す簡単な教科書の内容と、出される問題に対して理解できる。</p> <p>(2) 教科書のテーマや関連する簡単な会話、物語、叙述がわかる。</p> <p>(3) 英語の日常会話が理解できる。</p> <p>(4) 英語の教育ラジオ番組が理解できる。</p> <p>(5) 公共場所の放送内容（電車、駅、空港などの放送）が理解できる。</p> <p>(6) 英語の映画や国内の英語ニュースが理解できる。</p>
	話す	<p>一、基本能力</p> <p>(1) 主な英語教室用語が使える。</p> <p>(2) 教科書の内容に沿って英語で簡単な質問、回答ができる。</p> <p>(3) 教科書の英語を使って口語練習ができる。</p> <p>(4) 英語で簡単な疎通ができる。</p> <p>(5) 英語で簡単に日常の物事が説明できる。</p> <p>二、上級能力</p> <p>(1) 英語で教科書の内容が討論できる。</p> <p>(2) 英語で教科書の内容や物語を伝えることができる。</p> <p>(3) 図を見て英語で叙述できる。</p> <p>(4) 英語で日常生活の疎通ができる。</p> <p>(5) 言語や言語以外の疎通技術を有効に使うことによって、コミュニケーション効果を高められる。</p> <p>(6) 国内の風土や民情を英語で簡単に紹介できる。</p>
	読む	<p>一、基本能力</p> <p>(1) よく使われる英文の標示や図表が読める。</p> <p>(2) 資料中の基本情報が読める。</p> <p>(3) 短い物語を読んで要点が理解できる。</p> <p>(4) 辞書や他のツールを使って、自分で教科書内容と同難易度の教科書以外の教材を読解できる。</p> <p>二、上級能力</p> <p>(1) 字詞の構造、前後の文意、文型の構造、文章の組織から、言葉の意味やセンテンスの内容が推測できる。</p> <p>(2) 各種の読解技術（要点をつかむ、前後や先の文意を予測する）を熟知し、効果的に広い範囲で閲読できる。</p> <p>(3) 短文、書簡、物語、漫画、寸劇、簡単なニュース報道等の内容または状況が理解できる。</p> <p>(4) 異なる様式やテーマの文章を理解、鑑賞できる。</p> <p>(5) 文章の内容を分析、判断でき、叙述者の観点と態度が理解できる。</p>

	書く	<p>一、基本能力</p> <p>(1) 大文字、小文字、文章記号が正しく使える。</p> <p>(2) 正しくセンテンスをつなげ、書きなおすことができる。</p> <p>(3) 適切な語彙あるいは文型を使って正しいセンテンスが書ける。</p> <p>(4) 教科書の問題に対して回答が書ける。</p> <p>(5) 簡単な中国語のセンテンスを英語に翻訳できる。</p> <p>二、上級能力</p> <p>(1) さまざまな選択文の問題に対して、適切な回答が書ける。</p> <p>(2) あるテーマに対して筋が通るように段落を書き出せる。</p> <p>(3) 簡単なメモ、書簡、電子メール、心得、感想等が書ける。</p> <p>(4) 図形や表などを見て簡潔にストーリーや説明が書き出せる。</p> <p>(5) 中国語のセンテンスと段落を英語に訳せる。</p>
	総合 応用 能力	<p>一、基本能力</p> <p>(1) 英語で正しく流暢に短文、物語等を朗読できる。</p> <p>(2) 学んだ語彙と文型を把握して、適切に教室と日常生活の疎通に応用できる。</p> <p>(3) よく使う表を読んで理解し、書き込める。</p> <p>二、上級能力</p> <p>(1) 「聞く、話す、読む、書く」の各言語能力を効果的に統合して、各種の疎通状況に適切に応用できる。</p> <p>(2) 日常生活の対話、簡単な物語あるいは放送を聞いて理解し、要点を簡単に話し、書き出せる。</p> <p>(3) 物語や短文を読んで理解し、要点を簡単に短いセンテンスで話し、書き出せる。</p> <p>(4) 日常の手紙、電子メール、伝言、グリーティング・カード、招待状などを読んで理解し、口語か書面で対応できる。</p> <p>(5) 口語か書面で中国語のセンテンスまたは段落を英語に翻訳できる。</p> <p>(6) 要旨を英語で簡単に話し、書き出せる。</p>

ドイツ（ニーダーザクセン州）

◎ 各学校段階と年齢の対応関係

学校段階	年齢	学年
初等教育	6～9歳	基礎学校 1～4 学年
前期中等教育	10～15歳	ギムナジウム ¹ 5～10 学年 実科学学校 ² 5～10 学年 ハウプトシューレ ³ 5～9 学年 総合制学校 ⁴ 5～10 学年
後期中等教育	16～17歳	ギムナジウム 11～12 学年 総合制学校 11～12 学年

各学年の到達目標は、コア・カリキュラムに技能項目別に定められているが、このコア・カリキュラムは、ヨーロッパ共通参照枠に準拠している。

学年	聞く、視聴覚理解	話す (つながりのある会話ができる)	話す (会話に参加できる)	読む	書く
4年生修了時	4年生修了時に、児童は慣れた言葉や文を思い出し、ゆっくりとはっきり話されれば、理解できる。(A1)	4年生修了時に、児童は、自分や身近な生活に関係するテーマに関して簡単な形で話すことができる (A1)	4年生修了時に、相手が何度も繰り返し、ゆっくりと言い換えたり、児童の文章形成を助けたりしてもよければ、児童は、自分や身近な生活に関係するテーマに関して簡単な形で会話ができる (A1に近い)。	4年生修了時に、児童は、習い覚えた言葉や基礎的な文章例をすべて繰り返し、理解できる (A1に近い)。	4年生修了時に、児童は、例や、パターンや絵の助けを借りて、簡単に筆記でコミュニケーションがとれる (A1に近い)。

学年	聞く、聞く・視聴覚理解	読む	話す	書く
6年生修了時	A2	A2	A1+	A1+
8年生修了時	A2+	A2+	A2+	A2+
11学年修了時	B1+	B1+	B1+	B1+

・能力判定期間 (Qualifikationsphase) 12 学年

ギムナジウム上級学年のコア・カリキュラムは、大学入学資格であるアビトゥア（英語科目）の統一された課題要求に基づいている。それに基づき、生徒の言語、コミュニケーション能力育成のために授業に期待するレベルは、それぞれの要求に基づき、**基礎レベル・上級レベルに分かれ B2 から C1 の範囲となる。**

¹ 大学進学を目指す者が主に就学する中等教育機関。

² 上級専門学校や職業教育学校への進学を目指す者が主に就学する中等教育機関。

³ 卒業後に就職して職業訓練を受ける者が主に就学する中等教育機関。

⁴ 1960年代の複線型学校批判から創出された学校種で、すべての児童・生徒が共通する教育課程で学び、かつ大学入学資格であるアビトゥアを取得できることを特徴としている。社会民主党 (SPD) が優勢である一部の州において導入されている。

フランス

◎ 各学校段階と年齢の対応関係

学校段階	年齢	学年
初等教育	6歳～10歳	小学校 ⁵ 1～5学年
前期中等教育	11歳～14歳	中学校 ⁶ 1～4学年
後期中等教育	15歳～17歳	高校 ⁷ 1～3学年

2005年より国民教育省が定める英語（外国語）教育における到達目標は、「ヨーロッパ共通参照枠」の「共通参照レベル」の内容に基づく。

○ 初等教育

小学校修了時点において、ヨーロッパ共通参照レベルの A1 レベルを達成する。

○ 前期中等教育

中学校修了時点において、第一外国語はヨーロッパ共通参照レベルの B1 レベル、第二外国語は A2 レベルを達成する。

○ 後期中等教育

高校修了時点において、第一外国語はヨーロッパ共通参照レベルの B2 レベル、第二外国語は B1 レベルを達成する。

なお、学習指導要綱(Programmes des lycées)で、高校修了時点において達成すべき以下の目標が技能学習別に掲げられている。

必須科目としての外国語	第一外国語	第二外国語	第三外国語
聴解	B2	B1/B2	A2/B1
会話	B1/B2	B1	A2
口頭表現	B2	B1/B2	A2/B1
読解	B2	B1/B2	A2/B1
作文表現	B2	B1/B2	A2/B1

専門科目としての外国語	第一外国語	第二外国語
聴解	B2/C1	B2
会話	B2	B1
口頭表現	C1	B2
読解	C1	B2
作文表現	B2	B2

⁵ フランスではエコール エレメンタール(école élémentaire)またはエコール プリメール(école primaire)と称するが、本稿では小学校とする。

⁶ フランスではコレージュ(collège)と称するが、本資料では中学校とする。

⁷ フランスではリセ(lycée)と称するが、本資料では高校とする。

表1 共通参照レベル：全体的な尺度

熟達した言使用者	C2	聞いたり、読んだりしたほぼ全てのものを容易に理解することができる。 いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構成できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができ、非常に複雑な状況でも細かい意味の違い、区別を表現できる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長いテキストを理解することができ、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会的、学問的、職業上の目的に応じた、柔軟な、しかも効果的な言葉遣いができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテキストを作ることができる。その際テキストを構成する字句や接続表現、結束表現の用法をマスターしていることがうかがえる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的かつ具体的な話題の複雑なテキストの主要な内容を理解できる。 お互いに緊張しないで母語話者とやり取りができるくらい流暢かつ自然である。 かなり広汎な範囲の話題について、明確で詳細なテキストを作ることができ、さまざまな選択肢について長所や短所を示しながら自己の視点を説明できる。
	B1	仕事、学校、娯楽で普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば主要点を理解できる。 その言葉が話されている地域を旅行しているときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。 身近で個人的にも関心のある話題について、単純な方法で結びつけられた、脈絡のあるテキストを作ることができる。経験、出来事、夢、希望、野心を説明し、意見や計画の理由、説明を短く述べることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人的情報や家族情報、買い物、近所、仕事など、直接的関係がある領域に関する、よく使われる文や表現が理解できる。 簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることもできる。 自分や他人を紹介することができ、どこに住んでいるか、誰と知り合いか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりできる。 もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助け船を出してくれるなら簡単なやり取りをすることができる。